

事例番号:370268

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 3 日

14:24 骨盤位のため選択的帝王切開目的で入院

4) 分娩経過

妊娠 37 週 4 日

9:46 骨盤位のため帝王切開で児娩出、骨盤位

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 4 日

(2) 出生時体重:2600g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.31、BE -4.8mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 8 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 6 日 退院

生後 8 ヶ月 運動発達遅滞

1 歳 5 ヶ月 四つ這い未

1 歳 9 ヶ月 脳性麻痺に矛盾しない所見

(7) 頭部画像所見:

1 歳 6 ヶ月 頭部 MRI で脳室拡大を認めるものの、大脳基底核・視床に明らかな信号異常は認めず、低酸素・虚血を示唆する所見なし

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 3 名

看護スタッフ: 助産師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

脳性麻痺発症の原因を解明することが極めて困難な事例であり、原因は不明であると考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

(1) 妊娠中の管理 (外来管理、高位破水のための入院管理) は一般的である。

(2) 妊娠 35 週 6 日骨盤位のため、妊娠 37 週 4 日に選択的帝王切開としたことは一般的である。

2) 分娩経過

(1) 骨盤位のため妊娠 37 週 4 日に帝王切開を実施したことは一般的である。

(2) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

(3) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

出生後の管理は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

脳性麻痺発症に関与すると考えられる異常所見を見出すことができない事例を集積し、疫学調査や病態研究等、原因解明につながる研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。